

---

# 『繰り返しの毎日』

天斗海 草月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

『繰り返し毎日の』

### 【Nコード】

N71350

### 【作者名】

天斗海 草月

### 【あらすじ】

10分程度で書いた詩。

朝は鳥の声。

昼は蝉の声。

夜は蛙の声。

夏は騒がしい。

しかし、嫌いじゃない。

ああ、もう一つ、騒がしいのがあった。

人の声。

1日中聞こえる。

これは嫌いだ。

なんでだろう。

同じ『声』なのに。

何が違うんだろう。

何が嫌いなんだろう。

でも自分には関係ない。

今日もまた、仕事のために机に向かう。

パソコンを起動させる。

起動音、これも1つの声だ。

この声は聞きなれた、そして飽きた。

今日は昨日の続き。

何ページ書けるか。

適当に進めよう。

私は孤独の小説家。

他人は殆ど要らない。

家には勿論自分だけ。

今までも、そして、これからも。

ずっとずっと。

死ぬまで。

寂しい。

なんて感情は忘れた。

その方が楽だから。

それでも。

時々、思い出す。

若い頃の自分。

夢に向かっていた自分。

親の声、友の声。

今の自分。

後悔はしてない。

でも、後悔よりも大事な事を。

忘れているような気がする。

それが何かわからないぐらいだから。

思い出さない方が良いのかもしれない。

思い出したくないのかもしれない。

分からない。

今の自分が、分からない。

(後書き)

ただの殴り書き。

1分ぐらいで読めたかと思えます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7135o/>

---

『繰り返しの毎日』

2010年11月4日23時03分発行